

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	14	同業者との交流を通じた向上について法人内の交流はあるものの他事業所との交流は少ない為、自分たちのケアの在り方を検証する機会が少ない。	同業者との交流を持つことでケアの見直しをする機会をもつ。また、サービスの向上につなげる事ができる。	①他グループホームと交流する機会を作る。 ②外部の勉強会に参加する。 ③実践者研修、リーダー研修へ参加する。	12か月
2	27	個々の記録と実践への反映 カルテを中心に記録はされているが、利用者のニーズなどの記録が不十分なところがある。 個々のケアの質の向上のために、記録の能力をあげる必要がある。	利用者のニーズ等の記録を的確に書くことが出来る。また、それを介護計画に反映し実践につなげることが出来る。	①記録について勉強会をする。 ②毎月、居室担当者はカルテ記録を確認し、記録の不十分な点を他スタッフへ周知する。 ③カンファレンス時に介護計画を十分に話し合う。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。